

<http://www.point.co.jp/>

point

POINT REPORT 2012

第62期 年次報告書 2011.3.1~2012.2.29

株式会社ポイント

〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目7番2号

八重洲三井ビルディング10階

Tel. 03-3243-6011 Fax. 03-3243-6022



**PROJECT-
With the Earth**

この冊子の印刷・製本に係るCO₂は
PROJECT- With the Earth を
通じてオフセット(相殺)しています。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、第62期(2011年3月1日から2012年2月29日)
における事業のご報告をするにあたり、ひとこと
ご挨拶を申し上げます。

**震災後の厳しい環境を克服して成長を遂げると
ともに、今後のさらなる飛躍に向けて、
強い企業体質の構築を進めました。**

当期は、3月11日に発生しました東日本大震災によって、被災地の店舗において営業停止や建物の損傷が発生し、物流においても一時的に機能が低下するなど様々な困難がありましたが、社員やお取引先と協力し復旧・復興を進めるとともに、被災者の皆様へ想いを寄せて「ポイントらしく」被災地への支援を続けてまいりました。

事業においては、中期経営計画「TOP12」(Take Off Point 2010-2012)が最終年度を迎え、複数のブランドの成長により、目標としていた連結売上高1,150億円を達成することができました。また、海外においても、台湾、香港、中国の各市場で着実に当社ブランドの認知度が向上し、順調に業容が拡大しました。

当社は、「TOP12」期間中に「チェンジ宣言」を行い、今後のさらなる成長に向けて、ビジネスモデルの強化を加速させ、積極的に投資を行ってまいりました。当期は、生産本部による商品企画機能の強化および雑貨商品の拡充をさらにスピードアップさせるとともに、テレビCMをはじめとした広告宣伝の多様化を図りました。また組織面では、基幹ブランド強化のために営業組織体制を改編したり、本部による店舗サポート体制の見直しを進めたほか、新規事業や生産本部を中心とした外部人材の積極採用、研修体系の拡充を図り組織力の強化を推進しました。

以上の取り組みの結果、売上高は1,150億58百万円(前期比8.7%増)、利益面は、震災の影響による広範なセール展開等、



代表取締役会長兼社長 福田 三千男

市場環境に機動的に対応した売価変更を行ったこと、および積極的な店舗展開や将来の成長に向けた投資を実施したことに伴い、営業利益123億61百万円(同19.4%減)、経常利益125億22百万円(同19.2%減)、当期純利益67億89百万円(同19.2%減)となりました。

**新中期経営計画「TOP15」では、世界で躍進する
企業となるための成長基盤を構築してまいります。**

第63期からは新中期経営計画「TOP15」(Take Off Point 2013-2015)がスタートいたします。TOP15では、「ファッション市場において、世界で躍進する企業・ブランドに成長する。」をビジョンに掲げ、将来的に「グローバルブランドチェーン」に成長するための基盤を構築することを目指します。

具体的には、世界に通用するブランドを複数育成し、TOP15以降の持続的な成長に向けての基盤を構築します。また、魅力ある店舗を実現することで、商品企画力・調達力を強化しお客様に提供する付加価値を高めて、ブランド力を向上させることを目指します。組織面では営業組織体制を見直し、店舗へのきめ細かいサポート体制を構築するとともに、人材を積極的に育成・登用することで、より一層活力のある組織を実現する方針です。以上の方針に沿ってTOP15を推進し、最終年度である第65期(2015年2月期)には、売上高2,000億円、営業利益240億円を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

新中期経営計画 TOP15

(Take Off Point 2013-2015)

企業理念

ワクワクするライフスタイルを創造し、
“なくてはならぬ”企業となる。

ビジョン

ファッション市場において
世界で躍進する企業・ブランドに成長する。

経営方針

1. ビジョンの実現に向けて、世界に通用するブランドを複数育成するとともに、海外展開、新規ブランド開発を進め、TOP15以降の持続的な成長基盤を構築します。
2. 商品企画力・調達力を強化し、魅力ある店舗を実現することで、お客様に提供する付加価値を高め、ブランド力を向上させます。
3. ダイバーシティを尊重し、人材を積極的に育成・登用すると同時に、「チャレンジ」、「コミュニケーション」、「クリエイティブ」をキーワードとして、活力のある組織を実現します。

4つのDNA(競争力の源泉)

1. 店頭起点

「店頭」を全ての戦略・施策の起点とします。

2. ファッションカジュアル

程よいトレンド、値ごろ感、確かな品質のカジュアルウェアを提供します。

3. スピード経営

判断、行動の速度を上げます。

4. イノベーション

新たなチャレンジを推進します。

2012年2月期

売上高
1,150億円
営業利益
123億円

TOP15

- 成長戦略
- ビジネスモデルの強化
- 組織の活性化

2015年2月期

売上高
2,000億円
(+74%)
営業利益
240億円
(+94%)

グローバル
ブランド
チェーン
への飛躍

成長戦略

基幹ブランドへ積
① 極的に経営資源を
投入し業容を拡大

② 海外マーケットでの
展開力を強化

新たなマーケットの
③ 開拓によるマルチ
ブランド戦略の進化

WEBストアを強化、
④ 店頭・SNS・CRM
との連携による
顧客接点の拡大

⑤ M&A等による
グループ力の向上

ビジネスモデル の強化

① 商品企画力・
調達力の強化

② 広告宣伝機能の
強化

③ 物流機能の強化

④ アウトレット・
在庫消化機能の
拡充

⑤ ITインフラの強化

組織の活性化

組織改正による
① 施策推進の
責任体制明確化と
スピードアップ

② 営業組織体制の
最適化

③ 人材育成(グロー
バル要員の育成、
研修制度の拡充)

④ 社員の
キャリアパス拡充

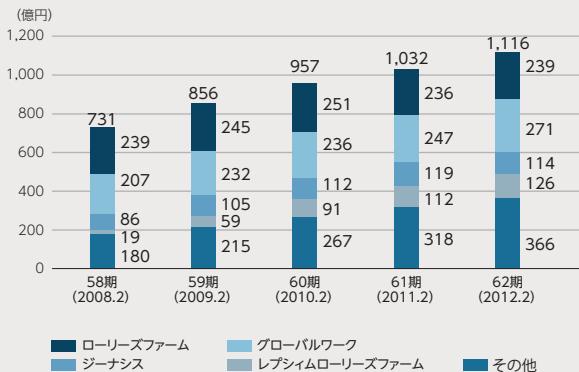
⑤ CSR(企業の社会的
責任)への取り組み

BRAND

基幹ブランドの着実な業容拡大と 新規ブランドの成長が売上の伸長に 大きく貢献しました。

基幹ブランドの大型店や既存ブランドの出店により着実な成長を見せたほか、新規ブランドの躍進もあり、業容の拡大を果たしました。

■ ブランド別売上高の推移（国内）



国内においては、基幹ブランドであるグローバルワークが前期比9.6%増となり、着実な拡大をしました。既存ブランドでは、レイジブルーとヘザーが堅調に推移し、新規ブランドとしてはコレクトポイントが前期比255.9%増、レピピアルマリオが同240.6%増と大きく成長しました。

また雑貨の取扱い強化を図り、雑貨売上高の構成比は前期比1.2ポイント増と着実に成果を上げています。

01

グローバルワークがさらなる業容の 拡大を目指し、大型店舗の展開を推進

2011年9月にオープンした「グローバルワーク エト 倉敷店」は、店舗面積が標準店の約2倍となる大型店舗です。広い店内では、オリジナルラインに加えて、レパシムローリーズファーム・インメルカートのアイテムを豊富に取りそろえ、多様なニーズにお応えしています。



グローバルワーク エト 倉敷店

G.

GLOBAL WORK

02

成長期ブランドであるレイジブルーと ヘザーが好調に推移

20歳代の男性、女性それぞれをターゲットとするレイジブルーとヘザーが着実に成長しています。両ブランドともに、時々トレンドをミックスした商品提案が顧客からの支持を受け、当社グループの業容の拡大を牽引しています。



B

RAGEBLUE

03

20代から30代のキャリア女性向け 雑貨業態 「マリカフリッカー」の展開を開始

マリカフリッカーは、毎日頑張って働く女性に向けて、使い心地にこだわった靴やバッグ、身に着けるだけで楽しくなる小物を提案する雑貨業態です。2012年3月に「アトレ松戸店」を含む2店舗を開店しました。



マリカフリッカー アトレ松戸店

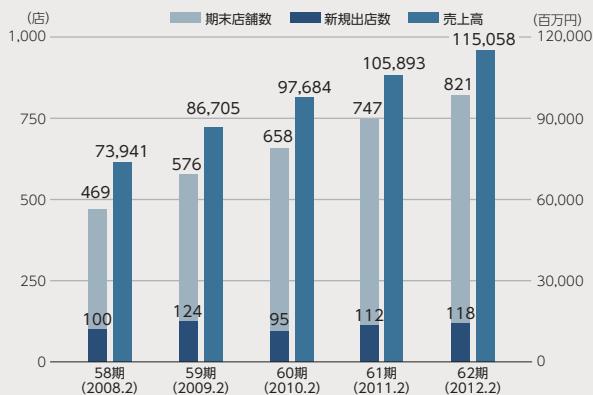
Mallika Flicker

Review of 2012 SHOP

引き続き、戦略的な新規出店と店舗リニューアルを実施しました。

店舗展開の面では、国内外で基幹ブランドを中心に、前期に引き続き100店舗を超える新規出店を行いました。また、既存店のリニューアルにも注力し、68店舗の改装を実施しました。

■ 売上高・店舗数の推移（連結）



国内につきましては、基幹ブランドのグローバルワーク、ローリーズファーム、成長著しい新規ブランドのレピピアルマリオなどを中心に101店舗の出店を行うとともに、39店舗の退店を行い、当期末時点での国内店舗数は前期比60店舗増の766店舗となりました。海外においては前期比14店舗増の55店舗となりました。その結果、当期末時点での総店舗数は前期比74店舗増の821店舗となりました。

01 コレクトポイントで新しいお買い物の楽しさを提案

2011年9月に、WEB連動型ショップとしてリニューアルした「コレクトポイント 原宿店」では、店内のデジタルサイネージを利用したお客様参加型コンテンツ「enjoy display」を導入。さらに、お客様にワクワクしながら参加していただけるようなイベントを開催しました。



コレクトポイント 原宿店

イベントにて

02 68店舗のリニューアルにより、魅力ある店舗づくりを推進

魅力ある店舗づくりのため、当期は68店舗の既存店をリニューアルしました。立地やお客様層、提供する商品のイメージに合わせた新たな内装コンセプトでリニューアルを実施しました。



ローリーズファーム 大宮店

ローリーズファーム 心斎橋店

03 ローリーズファームプラスが順調に店舗数を拡大

2010年12月にスタートしたエキナカ業態のローリーズファームプラスは、通勤・通学の途中にお買い物を楽しんでいただけるお店として、多くのお客様にご来店いただいています。店舗数も順調に増え、当期末時点で8店舗となりました。



ローリーズファームプラス エチカフィット東京店

LOWRYS FARM +

海外売上高が引き続き大きく 伸長しています。

海外展開は、特に中国における出店が本格化し、店舗網は上海から蘇州、北京へと広がりました。売上高は、台湾、中国、香港いずれも好調に伸びています。

■ 海外売上高と店舗数の推移



海外の店舗展開につきましては、台湾で7店舗の出店、2店舗の退店、香港で5店舗の出店、1店舗の退店、中国で5店舗の出店をしました。当期末時点での国別店舗数は、台湾27店舗、香港17店舗、中国11店舗の計55店舗で、前期末に比べて14店舗増加しました。特に中国では、売上高が前期比207.8%増となり、大きく伸長しました。その結果、海外売上高は34億97百万円で、前期比31.5%増となりました。

01

グローバルワーク海外第1号店を 香港にオープン

香港の有力商業施設であるCauseway Bay World Trade Centre(銅鑼湾)に、グローバルワークの海外第1号店がオープンしました。オープン当初から日々多くのお客様にご来店いただいております。

グローバルワークの商品は、香港のお客様からも大変ご好評いただいています。今後、さらに海外展開を推進し、国内外での業容拡大を図ってまいります。



GLOBAL WORK



グローバルワーク Causeway Bay World Trade Centre店(2012年2月17日オープン)

02

東南アジアのゲートウェイである シンガポールへ進出

2003年の台湾出店以降、香港、中国へと出店エリアを広げてまいりました。そして、海外市場へのさらなる進出の足掛かりとして、東南アジアへのゲートウェイであるシンガポールへ、第1号店となる「コレクトポイント ISETAN Orchard店」をオープンしました。今後、新たな市場の拡大を図るべく、店舗展開を進めてまいります。



コレクトポイント ISETAN Orchard店(2012年3月9日オープン)

Review of 2012 PROMOTION

新たなメディアを取り込み、お客様との接点を拡大しています。

ここ数年のプロモーション手法では、マスメディアによる広告宣伝に加え、WEBやメール、さらには「ブログ」「ツイッター」などのソーシャルネットワーキングサービスが活用されるようになってきています。当社もこれらの新しいメディアを駆使して、より多くのお客様にアプローチできるプロモーション活動を実践しました。

■ スマートフォン表示イメージ



現在急速に普及しているスマートフォンからのアクセスに対応するため、店舗情報やブランド情報などの一部コンテンツでスマートフォン対応を開始しました。今後もより使いやすいサイトとなるよう、機能を充実させていきます。

<http://www.point.co.jp/m/>

※ 従来のコーポレートサイトURL (<http://www.point.co.jp/>) から、簡単にスマートフォン版にアクセスできるよう設定しています。

01 ブランドの認知度向上や販売力向上に向けた様々なプロモーション活動を展開

人気ブランドのWEBストアを融合したポータルWEBストア「collect point」で新しいコミュニケーションを創造



ポータルWEBストア「collect point」

「ローリーズファーム」「ジーナシス」「ヘザー」のブランドムック本を発売



ローリーズファーム
ムック本

仲里依紗さんを起用した「ローリーズファーム」のテレビCMをオンエア (2011年3月、4月、11月)

異業種とのコラボレーションイベントを実施



JEANASIS×Polaroid

02 ヘザーがブランド設立10周年を迎え、記念キャンペーンを展開

ヘザーは、ブランド設立10周年を記念した様々な企画を実施しました。中でも、人気モデル岸本セシルさんとのコラボレーションキャンペーンでは、店頭でのイベントのほか、テレビスポットCMやSNSを活用したメディアミックスのプロモーション、コラボアイテムの発売などを連動させ、ブランドに対する愛着が高まるようなメッセージを発信しました。



Heather×non-no×岸本セシル
コラボキャンペーン

震災後の厳しい事業環境下、 中期経営計画の売上目標を達成しました。

業績

国内、海外ともに業容が拡大。利益面では、震災の影響や積極的な店舗・人材投資等による経費増に伴い減益となりました。

当期は、セールの前倒しや天候不順の影響もありましたが、海外の売上増や国内新店の寄与等により、連結売上高は前期比8.7%増の1,150億58百万円となりました。

一方、利益面では震災の影響による広範なセール展開等、市場環境に機動的に対応した売価変更等による売上総利益率の低下や、積極的な店舗展開および人材投資による販売費及び一般管理費の増加により、減益となりました。

財務

着実な純資産の積み上げにより
高い自己資本比率を維持しています。

総資産は、積極的な店舗展開に伴う店舗内装設備等の増加を主要因に、前期末比6億82百万円増加しました。

純資産は、利益剰余金の増加により38億61百万円の増加となり、自己資本比率は65.3%に向上しました。

次期 「TOP15」における各施策を着実に実行し、 企業価値の一層の向上を目指します。

次期は、下記の施策に取り組んでまいります。

- ・基幹ブランドの成長に向けて、店舗の大型化、雑貨等のコンテンツを強化します。
- ・基幹ブランドにおける営業体制の見直し等、営業サポート機能の強化を図ります。
- ・台湾、香港、中国に続いてシンガポールに進出し、海外でのブランド認知度向上と業容拡大を図ります。
- ・生産本部による商品企画機能の一層の強化とお取引先との協働体制強化を推進します。

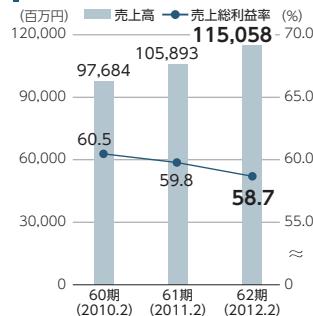
詳しい決算情報については

point

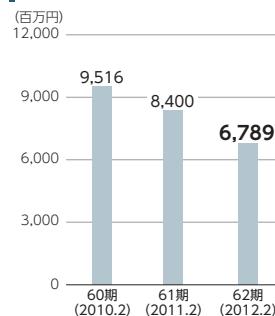
検索

<http://www.point.co.jp/>

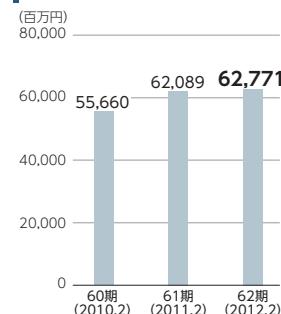
売上高／売上総利益率



当期純利益



総資産



純資産／自己資本比率



	2012年2月期	実績数値	次期見通し	前期比
売上高		115,058百万円	125,000百万円	(8.6%増)
営業利益		12,361百万円	13,100百万円	(6.0%増)
経常利益		12,522百万円	13,200百万円	(5.4%増)
当期純利益		6,789百万円	7,500百万円	(10.5%増)

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 (2012年2月29日現在)	前期 (2011年2月28日現在)
●資産の部		
① 流動資産	38,231	38,579
② 固定資産	24,539	23,510
有形固定資産	9,657	8,677
無形固定資産	645	783
投資その他の資産	14,237	14,048
資産合計	62,771	62,089
●負債の部		
③ 流動負債	21,452	23,877
固定負債	126	881
負債合計	21,579	24,758
●純資産の部		
④ 株主資本	41,076	37,138
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	2,517	2,517
利益剰余金	38,139	34,201
自己株式	△ 2,241	△ 2,241
その他の包括利益累計額	△ 106	△ 28
新株予約権	—	46
少数株主持分	221	174
純資産合計	41,191	37,330
負債及び純資産合計	62,771	62,089

① 流動資産

商品が、前期末比5.1%増加しました。震災の影響と下期の天候不順、新規ブランド展開による在庫の増加が主な要因です。

② 固定資産

店舗出店に伴う店舗内装設備や敷金及び保証金等が増加しました。

③ 流動負債

未払法人税等が減少しました。

④ 株主資本

利益剰余金の増加により、株主資本が増加しました。その結果、自己資本比率は65.3%と、前期末比5.5ポイント向上しました。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 (2011年3月1日～ 2012年2月29日)	前期 (2010年3月1日～ 2011年2月28日)
売上高	115,058	105,893
売上原価	47,510	42,533
⑤ 売上総利益	67,547	63,360
⑥ 販売費及び一般管理費	55,185	48,030
営業利益	12,361	15,329
営業外収益	185	187
営業外費用	24	13
経常利益	12,522	15,504
特別利益	845	1
特別損失	1,547	1,259
税金等調整前当期純利益	11,820	14,246
法人税、住民税及び事業税	4,812	6,341
法人税等調整額	161	△ 538
少数株主損益調整前当期純利益	6,846	—
少数株主利益	57	43
当期純利益	6,789	8,400

⑤ 売上総利益

セール等に対応した値下げ販売の増加や震災に伴う物流費用の増加により、売上総利益率は58.7%(前期比1.1ポイント減)となりました。

⑥ 販売費及び一般管理費

店舗展開に伴う人件費の増加やテレビCMの実施に伴う広告宣伝の拡充を主因に、販売費及び一般管理費は前期比14.9%増加となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 (2011年3月1日～ 2012年2月29日)	前期 (2010年3月1日～ 2011年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,119	10,531
⑦ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,076	△ 5,699
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,850	△ 4,805
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 34	△ 76
現金及び現金同等物の減少額	△ 842	△ 49
現金及び現金同等物の期首残高	26,151	26,200
現金及び現金同等物の期末残高	25,308	26,151

⑦ 投資活動によるキャッシュ・フロー

店舗出店に伴う有形固定資産の取得によるものです。

CSR活動

私たちは、ファッションを通じて、
社会がワクワクする活動を続けていきます。

当社は、本業を通じて持続可能な社会の実現に貢献するため、特に「女性」、「グローバル」、「商品の信頼性」をキーワードにCSR活動を推進しています。

女性

女性の活躍を支援し、安心して生き活きと働ける環境を整備するため、育児短時間勤務制度や傷病見舞金制度、アンバーサリー休暇の導入など、社内の制度改善を実施しています。

また、女子中高生のキャリア形成支援や女性特有のがん検診推進運動も継続的に取り組んでいます。

グローバル

グローバルな視点で課題解決に貢献するために、東日本大震災で被災した若者達に対し、グローバルリーダー人材育成プログラム「ビヨンドトゥモロー」に対する寄付活動やボランティア派遣をしています。その他に、ネパールの学校建設支援や、ペシャワール会を通じてパキスタンとアフガニスタンでの医療・水源確保・農業活動などへの支援を行っています。

商品の信頼性

当社は、買い物がよりワクワクするようなサービスや、毎日を楽しむ商品を提供、継続的な品質改善など、本業を通じてお客様の豊かなライフスタイルの実現に貢献します。

東日本大震災被災地への継続的支援

被災地の復興支援のため、震災直後に日本赤十字社を通じて売上金1%の寄付や義援金の寄付、支援物資としての衣料品の寄贈を行いました。また、継続的な支援活動として株主優待の寄付のほか、社内有志により、宮城県石巻市の避難所に仮設店舗を設置し、洋服を無償提供するなどの取り組みを実施しています。

株主様情報

株主様への還元について

株主の皆様への還元については、連結配当性向30%を基準に実施してまいります。当期の期末配当金については、1株当たり70円とさせていただくことといたしました。この結果、中間配当金の50円と合わせ、年間配当は1株当たり120円となります。年間の連結配当性向は42.0%となりました。

配当金の推移



株主優待制度のご案内

株主の皆様には、株主であると同時に当社商品のファンであって欲しいという思いから、当社の株主優待制度は、商品引換券といたしております。当社株式をご所有の株主の皆様へ、下記内容にて全国の当社店舗でご利用可能な商品引換券を贈呈させていただいております。
(権利確定日:毎年2月末日)



所有株式数	商品引換券贈呈額
10株以上100株未満	2,000円
100株以上1,000株未満	5,000円
1,000株以上5,000株未満	10,000円
5,000株以上	20,000円

経営報告会の開催

当社では、株主の皆様へ当社の経営陣から経営方針・事業計画進捗状況等をご報告させていただくとともに、株主の皆様からのご意見を直接頂戴する貴重な場として、経営報告会を開催しております。より多くの株主の皆様との交流を図るため、当期は11月の週末に東京と大阪にて開催いたしました。

■ 会社概要 (2012年2月29日現在)

会社名	株式会社ポイント
本部	東京都中央区八重洲二丁目7番2号 八重洲三井ビルディング10階
代表電話	03-3243-6011
設立	1953年10月
資本金	2,660百万円
代表者	代表取締役会長兼社長 福田 三千男
事業内容	カジュアルウェア専門店チェーン
事業所	水戸本店 東京本部 国内店舗数 766店舗
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行 常陽銀行
社員数	正社員2,180名
平均年齢	28.5歳

■ 取締役・監査役 (2012年5月24日現在)

代表取締役会長兼社長	福田 三千男
代表取締役専務執行役員	遠藤 洋一
取締役専務執行役員	久保木 大世
取締役専務執行役員	五十嵐 俊弘
取締役常務執行役員	櫻井 健一
取締役常務執行役員	時松 克治
取締役常務執行役員	松田 毅
取締役常務執行役員	浅井 英成
取締役	加藤 章
常勤監査役	廣田 滋
監査役	横山 哲郎
監査役	前川 渡
監査役	高橋 惇

※取締役のうち、加藤章は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
 ※監査役のうち、廣田滋、横山哲郎、前川渡は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

■ 連結子会社 (2012年2月29日現在)

株式会社ボジック

資本金	10百万円
当社の出資比率	100%
主な事業内容	当社取扱商品の物流業務
事業所	水戸物流センター、福岡物流センター、茨城西物流センター 神戸物流センター

波茵特股份有限公司

資本金	10百万台湾ドル
当社の出資比率	100%
主な事業内容	台湾における衣料販売業務
事業所	台北本部 台湾店舗数 27店舗

POINT HOLDING CO., LTD

資本金	48百万香港ドル
当社の出資比率	75%
主な事業内容	香港における衣料販売業務
事業所	香港本部 香港店舗数 17店舗

方針(上海)商貿有限公司

資本金	23百万香港ドル
出資者	POINT HOLDING CO., LTD 100% ※POINT HOLDING CO., LTDは当社75%出資会社です。
主な事業内容	中国における衣料販売業務
事業所	上海本部 中国店舗数 11店舗

Singapore Point Pte. LTD

資本金	5百万シンガポールドル
当社の出資比率	100%
主な事業内容	シンガポールにおける衣料品の輸出入及び販売
事業所	シンガポール本部 シンガポール店舗数 1店舗 (2012年3月末現在)

株式の状況

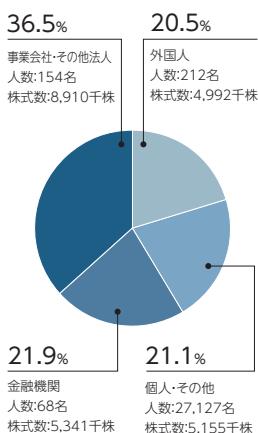
発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	24,400,000株
株主数	27,561名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社テツカンパニー	1,644	6.9
株式会社武平	1,500	6.3
株式会社月岡	1,500	6.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,387	5.8
株式会社フクゾウ	1,218	5.1
豊島株式会社名古屋本社	1,000	4.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	847	3.6
ピービーエイチ マシユーズ アジア デイビッド ファンド	810	3.4
福田 三千男	719	3.0
株式会社良品計画	554	2.3

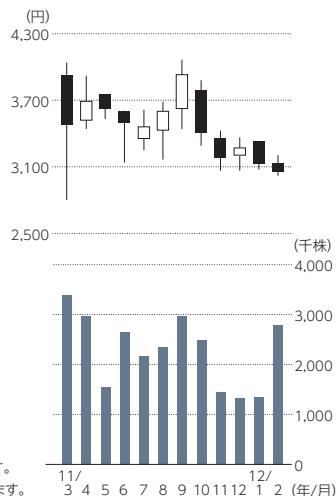
※持株比率は自己株式(637,885株)を控除して計算しております。

所有者別株式数分布状況



※金融機関には金融商品取引業者を含みます。
 ※事業会社・その他法人には自己株式を含みます。

株価・売買高の推移



株主メモ

事業年度	3月1日～翌年2月末日
期末配当金受領株主確定日	2月末日
中間配当金受領株主確定日	8月31日
定時株主総会	毎年5月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	同上
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.point.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

詳細な財務データはホームページにも掲載しておりますのでご利用ください。

当社のホームページでは、ブランド紹介のほか、店舗情報、プレスリリース、企業情報、株主・投資家情報など、当社に関する各種情報を公開しています。特に、株主の皆様、投資家の皆様へのきめ細かな情報提供を目指し、IRニュースや売上速報などの迅速な情報開示や、動画による説明会の模様の配信など多彩なコンテンツをそろえておりますので、是非ご利用ください。



<http://www.point.co.jp/>